

部隊の目として、偵察用オートバイで素早く行動、情報を収集します

自衛官（偵察手）



自衛隊は日本への侵略を未然に防ぎ、国の平和を守るのが主な仕事です。偵察手は偵察用オートバイを自在にあやつり山河を駆けめぐり、ドローンやレーダーを使つての情報収集や、時には危機を未然に防ぐために監視などもおこないます。また、災害派遣が発生した時には車両では通れない場所へ行き、被災地の状況を伝える役目もあります。偵察手は自分が見た現地の状況や、細かい情報を正確に報告するために観察力が必要です。



このお仕事についたきかけ

入隊した時からレンジャー（特殊な訓練を受けた隊員）にあこがれがあり、レンジャーに必要な知識、技能を身につけるためにも偵察手は最適だったこともあります。自衛官は体力面、精神面でも成長できる仕事です。

CHECK! 自衛官（偵察手）ってどんなお仕事をしているの？

オートバイの訓練



偵察手は道なき道を進み、情報を集めなければいけません。荒れた山林や被災地でも自在にオートバイをあやつれるように、隊員は日ごろから訓練を欠かしません。

地図の判読訓練



山間部などでの行動は、地図とコンパスが頼りです。自分がどの位置にいるのか、目標地点の位置を正確にわからないといけないので、地図の判読訓練は重要です。

オートバイの整備・点検



偵察用バイクは荒れた地形などを自在に走る、いわばわたしたちの足であり、大切なパートナー。いつでも出動ができるように、愛情を込めて整備・点検をおこなひません。

体育訓練（トレーニング）



国民の命を守るために、自衛官には体力だけでなく精神力も必要です。わたしたちは、ふだんからランニングや筋力トレーニングで心と体をきたえています。

こんな人も働いています！

- パイロット
- 医師
- 看護師
- 音楽演奏者
- 整備士
- 事務員
- 気象予報士
- スポーツ選手
- 警察
- 消防
- 他にも多数あり

この自衛隊に教えてもらったよ！

15

自衛官（偵察手）

ここにしかない成長。ここにしかない経験。

防衛省・自衛隊（自衛隊大分地方協力本部）

大分市新川町2-1-36 大分合同庁舎5階 TEL/097-536-6271

創立/1954年7月 隊員数/約24万人（大分県内約3千人）



CHECK! 自衛隊はこんな仕事をしています

地震・台風など災害時の救助活動

災害が発生した時に、人命救助、医療、輸送などの【災害派遣活動】をおこない、国民の命を守ります。



世界の平和に協力する活動

国際社会の一員として、世界が協力しておこなう平和のための活動に取り組み、世界各国との“きずな”を構築しています。



いろいろな乗り物の運転

車両、船舶、航空機など、自衛隊には様々な乗り物があり、これらの乗り物を運転するプロの隊員がいます。



他にもいろいろな仕事があります

調理、ホームページ作成、警備犬の教育など、全国で活躍している約24万人の自衛隊員には、いろいろな仕事があります。



CHECK! 自衛隊をもっと知ってもらうためにいろいろな活動をおこなっています

自衛隊は日本の平和と独立、そして安全を守るための組織です。そのためには国民の皆さんのご理解とご協力がが必要です。自衛隊大分地方協力本部では、自衛隊を知ってもらうために音楽の演奏会や護衛艦の見学会など様々なイベントもおこなっています。

